

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら すずかけ教室

保護者等数(児童数) 12 回収数 7割合 58.3%

	チェック項目	はい	どちらか いはい	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5			2	活動をしている所を見ていないので何とも言えないけれど、写真からは大丈夫な気がします。	活動室、学習室は十分な広さがあり、スペースは確保されている。職員の適切な配と質の高い療育を実施していく
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	1		2		心理士、児童発達支援管理責任者、児童指導員を適正に配置して安全に配慮した配置を実施していく
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか、また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7					導線はバリアフリーになっている。情報伝達には配慮が必要なので、安全を最優先に情報伝達を実施していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか、また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7					毎日の掃除・消毒をおこない、清潔を保てるようにしている。児童が清潔で楽しい空間づくりを行っている。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	1				児童の抱えている課題を客観的に分析して計画していく
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1		2		児童発達支援計画書は児童発達支援ガイドラインに基づき、支援内容から必要な項目を選択して支援内容を設定している。その上で具体的な支援を設定していく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7					児童発達支援計画により計画された計画書に基づき、沿った支援を行っていく
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	1				プログラムが固定化しないようにミーティングを行い、皆で工夫して行っていく
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		1	4		近隣の児童館など、関りが持てそうな機関を探し、交流を行っていきたくと考えている
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					契約の際に丁寧に説明しているが、運営規定・利用者負担に関して問い合わせがあった場合は、いつでも対応できるようにしていく
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7					児童発達支援計画の支援内容については、保護者からの依頼でもあり、児童発達支援計画に盛り込んだ支援計画を立てている。この児童発達支援計画に沿った形で支援を行っていく
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1	2	2	連絡帳でやり取りをしているのと口頭でお話させていただいている	児童についての困りごと課題等を聞き、対応を一緒に考えながら、支援を行っていく
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7					毎日の送迎時の伝達で、保護者との会話で児童の状況の説明、課題について話し合い、発達状況についても随時確認を行っていく
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6		1			定期的に面談は行っていますが、面談時期以外での面談が必要な場合には、時間を設定して面談を行うなどしている。また、状況・課題に関しては送迎時に伝達していく
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		4	2		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5			2		保護者からの相談や申入れの対応については、第一優先として、可能な限り対応していく
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6			1		児童の特性を考慮し、意思の疎通や情報伝達に間違いがないように確認し、配慮していく
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7					会報とホームページで公開している。児童の活動状況やイベントなどを公開し、楽しんでいる様子を保護者様に対して発信している。自己評価結果についても発信していく。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	7					取り扱いには十分注意していて、不用になった児童名の入った書類に関しては、確実にシュレッダーで細断するようにしていく
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5			2		緊急時対応マニュアルを策定し、職員全員が参照できるようにしてある。職員全員が周知しています。また、年に2度以上避難訓練を実施して避難経路、手順を確認していく
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			2		1年に2回定期的に避難訓練を行っています。訓練に際し、避難時のマニュアルを用意していく

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	7					楽しんでもらえるように、イベント・プログラムに変化をつけ、音が楽しめるようにしていく
	23	事業所の支援に満足しているか	7					これからも満足していただけるように、目標を高く持って臨んでいく
			125	5	8	21		79%

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら すずかけ台教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	教室が広いので職員が目が届くように配置を工夫している	児童指導訓練室、学習室のスペースは十分に確保しています。指導員の配置を適切に考慮しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	5	1	児童の動向を、職員が目が届くように配置場所を工夫している	職員の数が若干不足しているため、現在対応中です。その分職員の配置場所を考慮して対応しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	障害の特性に応じた配慮がなされていて、分かりやすい設備になっています。障害特性に応じて、コーン・ラバー等適切に活用出来るように工夫している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	2	毎日の清掃をチェックシートを使い掃除を行っていて、極力清潔を保つように努力している	努めて清潔を保てるようにしているが、床などは改善の余地がある。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3	児童の課題などをきちんと分析してPDCAサイクルに職員が参画している	SST、学習面においては、振り返りが大事で、PDCAサイクルを広く職員に浸透し、児童個々の目標を達成できる事が目標です
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		保護者様からの評価を真摯に受け止め、改善提案を大事にすることを目標にしている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3	自己評価表は保護者向け評価結果を踏まえて事業所自体の自己評価を行い、その評価結果を基に改善の内容を会報やホームページを活用し公開している	自己評価表は保護者向け評価結果を踏まえて事業所自体の自己評価を行い、その評価結果を基に改善の内容を会報やホームページを活用し公開している
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		機会があれば、第三者の評価結果も取り入れて業務改善していきたい
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	虐待防止・や無負えない場合の拘束等、研修会を開き研修を行っている、	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	アセスメントを行い、児童・保護者のニーズや課題を分析して児童発達支援計画書を作成している。	アセスメントシートの分析結果を基に児童発達支援計画書の作成を行っているが、成長度合いにより、目標が達成またはそくない場合再度面談を行ってきたい
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3		現在はアセスメントツールを使用していないが、有用性が確認できればアセスメントツールを使用していきたい。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	2	具体的な支援内容は児童発達支援ガイドラインをもとに提供すべき支援、家族支援、地域支援から児童に必要な項目を適切に選択して具体的な支援内容が設定され、児童発達支援計画を作成している	基本的には、児童発達支援ガイドラインを使用して支援内容を選択しています。そのうえで、保護者のニーズ、アセスメントシートから読み取った具体的な課題について、療育に反映できる様に支援内容を設定している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	児童発達支援計画に沿った支援を行っている毎日のミーティングで確認しながら支援を行えるように工夫している	児童発達支援計画書に沿った支援を行えるように、支援内容の確認を行い支援を行うようにしていく
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		皆で協議して立案するように意見を出し合って活動プログラムを立案していく
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	プログラムが固定化しないように、皆で意見を出し合い工夫している	プログラムが固定化しないように、皆で意見を出し合い協議していく
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1	児童発達支援計画については個別活動、集団活動を組み合わせ作成している	保護者からの意見対応については、第一優先として、面談の際に児童発達支援計画書に盛り込む事を課題としている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎朝のミーティングで支援の内容や分担について確認している。	毎日のミーティングで支援の内容や役割分担について確認を行っているが、児童の各課題についても全職員で行ってきたい
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		支援終了後にはミーティングという名目では行っていないが、毎朝ミーティングで前日の状況説明と療育について話し合っている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		日々の記録は連絡帳と業務日録で行っているが、検証改善には至っていないので、検証改善につなげていきたい
20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	モニタリング結果により、児童発達支援計画の見直しが必要な場合、児童発達支援計画書を更新し、支援業務に反映する工夫をしている	定期的3か月ごとにモニタリングを行っているが、見直しの必要がある場合を判断し、児童発達支援計画に反映し、療育にも反映していきたい	
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	児童発達支援管理責任者が担当し参画している	児童発達支援管理責任者が担当して参画している	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	保護者との話を最優先に考えているが関係機関との連携もしている	関係機関との連携が必要な児童がいる場合、関係機関との連携した支援をおこなってきたい	
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	3			

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	2		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	保育園、幼稚園、等の中で相互理解を図って、送迎時に児童の状況、学習などの確認を行う情報共有と相互理解を図る工夫をしている	児童の支援内容によっては、保育園他の情報共有を図る必要がある場合、行っている送迎時には、児童の状況、学習、等の情報共有を行っていききたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	児童により移行支援が必要な場合、移行支援として、小学校や特別支援学校等と情報共有を行う工夫をしている	支援内容によっては、小学校や特別支援学校等と情報を共有して相互理解を図る必要があるばあい、行っていききたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等で三者面談などの連携は児童発達支援管理責任者が参加している	他の専門機関とも、協力して連携していききたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2		現在は行っていないが、近隣の関係機関と関係を持つ事ができれば、一緒に活動することを目標にしたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	児童の状況を把握し、児童の状況・課題を保護者と話し合い共通意識を持っている	児童の状況・課題を話し合い、保護者の意向を取り入れて、共通理解をもつ事を目標にする
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	運営規定、利用者負担に関しては、丁寧に説明し、実質など別途利用者負担に關しても、都度、理由を説明して承認を得る工夫をしている	運営規定、利用者負担に關して、丁寧な説明をしているが、実質など別途利用者負担が必要な場合、紙面にて報告し、説明を行っていききたい
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	児童発達支援ガイドラインに基づき作成している児童発達支援計画については面談し説明して、保護者様からの同意をえています。	児童発達支援計画を読み合わせて承認をいたしているが、児童の課題を保護者様から提示された場合、保護者様からの課題を優先することを目標としている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	学習の悩みなど、相談を受けた場合、都度、助言をおこない対応する工夫を行っている	保護者様からは学習に対する要望が多いので、学習に集中が出来る環境を整えた支援を目標にしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	支援に対しての申し入れがある場合、迅速に対応できるように児童発達支援管理責任者と管理者が対応している	支援に対する申し入れは、学習を中心に増えています。対応する職員を増やして行っていききたい
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	毎月会報を発行して、行事予定など発信しています。楽しい内容になるようにくふうしています。	毎月会報は出しているが、見ただけで楽しめる会報やホームページにして、もっと楽しんでもらえるような会報やホームページを目標にしてい
非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	児童の名前が入ったものは全てシュレッダーに掛ける様に工夫している	必要書類については鍵付き書庫に格納してあり、不要になった書類についてはシュレッダーで細断しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	障害のある児童の送迎の到着場所など保護者様と相談し、危険回避に配慮するように工夫している	障害のある児童が対象なので、保護者との意思疎通、情報伝達など密に行うことを目標にしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2	防火、防災、感染症マニュアルを作成していて、職員が周知できるように、掲示板に掲示している。また、年に2回以上避難訓練を実施し、緊急時に対応できるよう工夫している。	緊急時対応マニュアルは、掲示板に掲示していつでも参照できるようにしている。避難訓練については、全員が参加できていないので、全員が参加できる事を目標にしたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2	年に2回避難訓練を行っているが、非常時に備え、時間を計測し、素早く避難ができるように工夫している。	避難訓練は、全員参加出来ることを目標にし、全員が迅速に避難することに慣れることを目標にしている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	毎朝のミーティングで疾病・アレルギー、服薬について話し合っている。アレルギー一覧表を張り出し当該児童の適所があるかを確認し、工夫している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	食物アレルギーについては、毎日話し合いアレルギー表をもとに確認する工夫している	アレルギーについては医師の指示に従っているので、このまま継続することを目指す
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有することを目標とする。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3	虐待防止研修会を年2回以上開いている、虐待に対し適切な対応ができる様に工夫している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2	身体拘束については、該当児童には十分に説明して保護者に事前に了承を得て児童発達支援計画に記載するように工夫しています。	